

○平成28年2月4日 総合防災対策特別委員会の第2回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

総合防災対策特別委員会では、今年度のテーマを「地域における防災力の向上について」及び「津波・地震対策とため池の防災対策について」と定めており、今回4カ所の現地視察を行いました。

まず、詰田川（高松市）における津波等対策河川事業箇所を視察し、事業の概要について説明を受け、質疑を行いました。



次に、香川大学危機管理研究センター（高松市）を視察し、「災害状況再現・対応能力訓練システム」について説明を受け、同システムによる初動対応訓練を体験し、質疑を行いました。



次に、さぬき市の石神池を視察し、耐震化補強工事の概要について説明を受け、質疑を行いました。



最後に、高松市の栗林校区自主防災組織連絡会を訪れ、具体的な活動内容について説明を受け、質疑を行いました。

